

1月うぶやま天文台情報

# 年始めの流星群「しぶんぎ座流星群」を 観察しよう

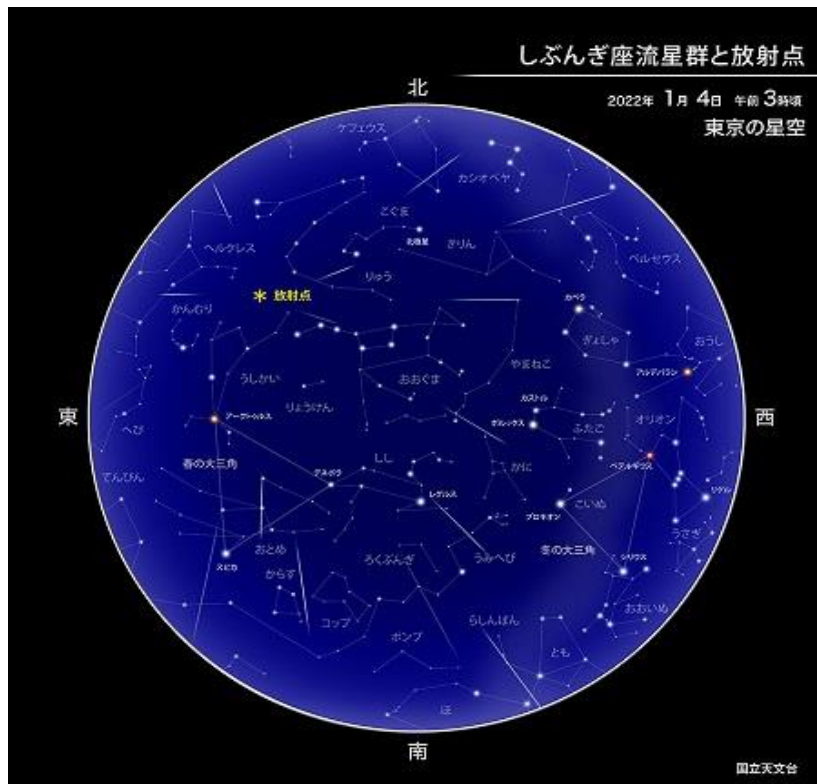


年始めの1月4日の夜明け前に「しぶんぎ座流星群」がみられます。しぶんぎ座流星群は三大流星群の一つですが、比較的安定した出現数のある8月のペルセウス座流星群、12月のふたご座流星群に比べて出現の時間が短く、出現が年によって安定しないことで知られています。

今年の極大は4日の午前4時～6時頃です。しぶんぎ座流星群が見え始めるのは、放射点が昇ってきた後の午前1時頃からですが、その後極大に向けて流星群の活動が活発になります。放射点が高くなり、見える流星が増えていきます。最も多く見られるのは空が白み始める前です。今年の予報は、夜空の暗いところで1時間に50個、市街地では1時間に7個～8個程度だと言われていますが、新月が3日で、月の影響を受けないので条件としては良いです。放射点はうしかい座とりゅう座の境界線付近です。

しぶんぎ座という星座は、現在はないのですが、以前「壁面しぶんぎ座」という星座があったため、現在でもこの名前が残っています。りゅう座流星群と呼ばれることもあります。

今回は、年の初めでもありますのでうぶやま天文台のイベントとして観察会等は実施しません。お知らせのみです。



しぶんぎ座流星群の放射点